

経営理念

当金庫が明治35年5月の創立以来、一貫して目指してきたものは「地域に密着し、地域の皆さまとともに地域社会の発展と繁栄のために貢献し、地域の皆さまに信頼される結城信用金庫」であります。

地域のお客さま一人ひとりと結城信用金庫そして金庫役職員が相互扶助の精神で“こころをひとつ”にして、地域の皆さまにきめ細かなサービスを提供することを考え日常業務に励んでおります。

【基本方針】

地域金融機関である事を誇りとし、真に愛され信頼される金庫となり
地域産業の振興に貢献します。

金融業務の公共性を自覚し、常に研鑽を積み堅実なる経営を以て
信用の維持に努めます。

金庫の繁栄と共に役職員の生活向上を図り、
安定にして幸福なる職場たらしめます。

経営方針

社会・経済システムの転換期を迎え、金融機関を取り巻く環境も大きく変化しており、「経営の健全性の維持・向上」および「お客さま満足度の向上」の両立が最も重要な経営課題となっております。

当金庫は、役職員一人ひとりが地域社会の一員であることを認識し、地域社会の持続的発展に向けて、自己の果たすべき役割を全うしてまいります。

そして、地域に根ざした「ユーシン」として、地域の皆さまとともに地域社会のさらなる発展を目指してまいります。

金融機関の経営はいたずらに業容の拡大に走ることなく、
量と質のバランスを考慮し常に健全経営に徹します。

資産の健全性確保と信頼の向上に努めます。

収益体質の強化とリスク管理の徹底に努めます。

社会的資産である人材の育成に努めます。

事業方針

平成27年度は、地域金融機関として地域社会の持続的発展のため、地域社会とスクラムを組んで総合的な「好循環」に向けた施策に取組み、将来的に持続可能なビジネスモデルを構築することで、安定的な経営基盤の維持を図ることを目指して策定した新3か年計画“ユーシン「スクラム強化」2015”をスタートさせた年度でした。同計画では①コンプライアンス態勢の強化②営業基盤の強化③顧客ニーズに応える経営への取組み④環境問題や社会貢献活動への取組み⑤内部管理態勢の強化⑥リスク管理態勢の充実⑦組織力・人材力の強化の7項目を課題として掲げ、重点的に取組んでまいりました。

特に、当金庫がお客さまからの信頼を確保し安定的な経営を維持していくためには、コンプライアンス重視の企業風土の醸成が必要不可欠であるとの認識の下、「コンプライアンス態勢の強化」を経営の最重要課題として取組んでまいりました。